

私たちが、この道路の「里親」です。

～道路アダプト協定に基づく住民参加の美化活動の状況を紹介します～

住民の皆さまが、道路等の公共スペースの清掃や花植えを通じ、道路を“養子”のように面倒を見ることから、これらの住民活動を「アダプトシステム(※)」といいます。(※アダプトとは「養子縁組をする」という意味です。)

長野県では平成 15 年から「信州ふるさとの道ふれあい事業」として同システムを本格導入し、県が管理する道路の美化活動に住民の参加をいただいています。

地域住民団体と道路管理者(県)・市町村との間で協定を取り交わし、役割分担を定めた上で、道路の一定区間を「里親」(ボランティア)として歩道・植樹帯等の美化活動に汗を流していただいています。

ここ上小地域でも多くの団体が協定締結し、活動をしています。その活動の一端をご紹介します。

1 上小地域の状況(平成 22 年度末現在)

- (1) 団体数 26 団体
- (2) 協定延長 約 23km
- (3) 参加者 約 1,500 人



2 協定における役割分担

- *住民団体等 … 歩道・植樹帯等の清掃、花植え等の美化活動の実施
- *市 町 村 … 協定締結者間の連絡調整、収集ゴミの回収・処理等
- *道路管理者 … アダプトサイン(看板)の設置、清掃用具等の貸与、原材料品等の支給、保険の加入等

3 近日中に実施を予定している活動

- (1) 実施団体名 下本郷地区花と緑の街づくり協議会
(長野県道路整備期成同盟会 道路事業功労者表彰、上田市 花と緑のまちづくりコンクール表彰 受賞)
- (2) 実施日時 平成 23 年 11 月 6 日(日) 午前 9 時から
- (3) 実施箇所 主要地方道 上田丸子線 下本郷誉田別神社前 約 500m の区間
- (4) 参加予定人数 約 70 人
- (5) 実施内容 築地バイパス沿い花壇への花苗植付け等